

## ■ユニバーサルデザインの取り組み

【福島第二地方合同庁舎】

ユニバーサルデザインの実現を目指す検討会を開催し、高齢者・障がい者等を含むすべての人が、安全に、安心して、円滑かつ快適に利用できる整備に取り組みました。

### ○開催状況（自治体、関係団体等が参加）

- ・【第1回検討会（計画段階）】 H31. 2. 20  
概要：ユニバーサルデザインに関する整備方針について意見交換
- ・【第2回検討会（設計段階）】 R1. 7. 17  
概要：第1回検討会を踏まえた整備概要について意見交換
- ・【第3回検討会（施工段階）】 R5. 1. 23  
概要：ユニバーサルデザインの実施内容及び見本サンプルの確認

### ○検討会開催写真（第3回検討会）



概要説明



触知サインに関する意見交換状況

### ○施設整備への反映状況

- ・エレベーター内部から外部を視認できるように、扉に防犯窓を設置
- ・ホールにエレベーター内部の様子が分かるモニターを設置
- ・トイレ入口に触知サイン及び音声案内設備を設置 等



エレベーターの防犯窓



トイレの案内

## ■庁舎整備におけるBIMの活用

【福島第二地方合同庁舎】

材料・部材の仕様、仕上げ等の情報を持つ三次元モデルを構築するBIM（Building Information Modelling）を活用し、設計情報を可視化することで、設計・施工段階における検討の効率化を図りました。

### ○外観検討

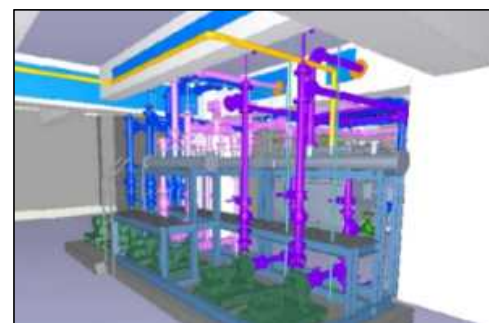
まちの景観に調和する、色彩計画の検討



庁舎南面外観

### ○干渉確認

天井内部の配管・ダクトが躯体に干渉していないかを確認し、施工性を確保



配管



ダクト